

私は 2 日目から担任や授業を任せてもらったため、HR やそうじ指導・給食指導などのすべてを一通り経験することができた。中でも HR の先生からの話の中で、必ず伝えなければいけない連絡事項やクラス運営をしていく上で、その日にあった反省点や良かった所を話し、次の日に生かせるようにすることが難しかった。初めは内容が浅く、先生としてちゃんと話せていないと指摘を受けたため、次の日からは自分の経験を基にクラスがより良くなるにはどうすればいいのかということに重点を置き話をした。一番話をして良かったと思うのは、“クラスはチームと同じ”という話だ。1 人が頑張ってもチームは強くなれないし、1 人がチームを乱す行動をすればチーム全体が崩れていく。クラスも同じで 1 人がそうじをさぼっていれば、そうじを一生懸命している人の頑張りまでかき消される。だから 1 人 1 人がチームの一員・クラスの一員であることをしっかりと自覚しないといけない、という話をした。生徒たちは真剣なまなざしで話を聞き、次の日のそうじでは全員が協力して頑張っていた。1 つの話でこんなにも生徒が変わるのだ。生徒の可能性を知ることができた。

教育実習は自分にとって、先生になる覚悟ができた経験になった。大変でしんどいことやつらいことばかりだったが、生徒たちの顔を見るときもう一度頑張ろうという気持ちになれた。また、しんどいことよりもやりがいや日々の達成感・感動が大きかった。1 日 1 日の生徒の成長を間近でみることができる教師という仕事は本当に素晴らしい仕事だと思う。教師の影響力は生徒にとってすごく大きなもので、良い意味でも悪い意味でも生徒の今後に関わってくる。教師はその責任をしっかりと持って、生徒たちと関わっていかなければいけないと思った。